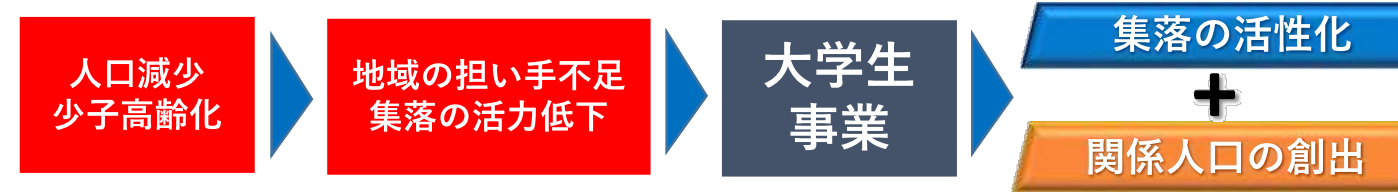




# 大学生と集落の協働による地域活性化事業

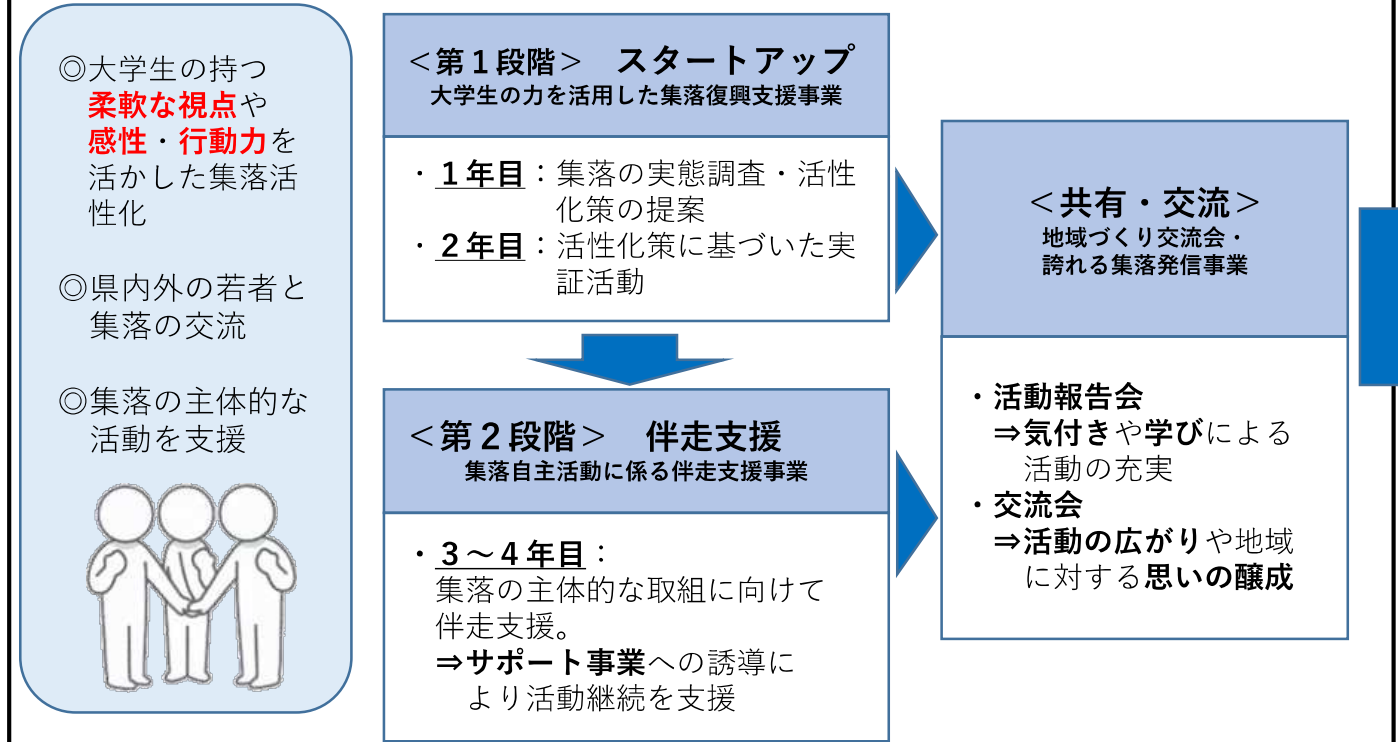
福島県 地域振興課  
TEL: 024-521-7114

## 背景・目的

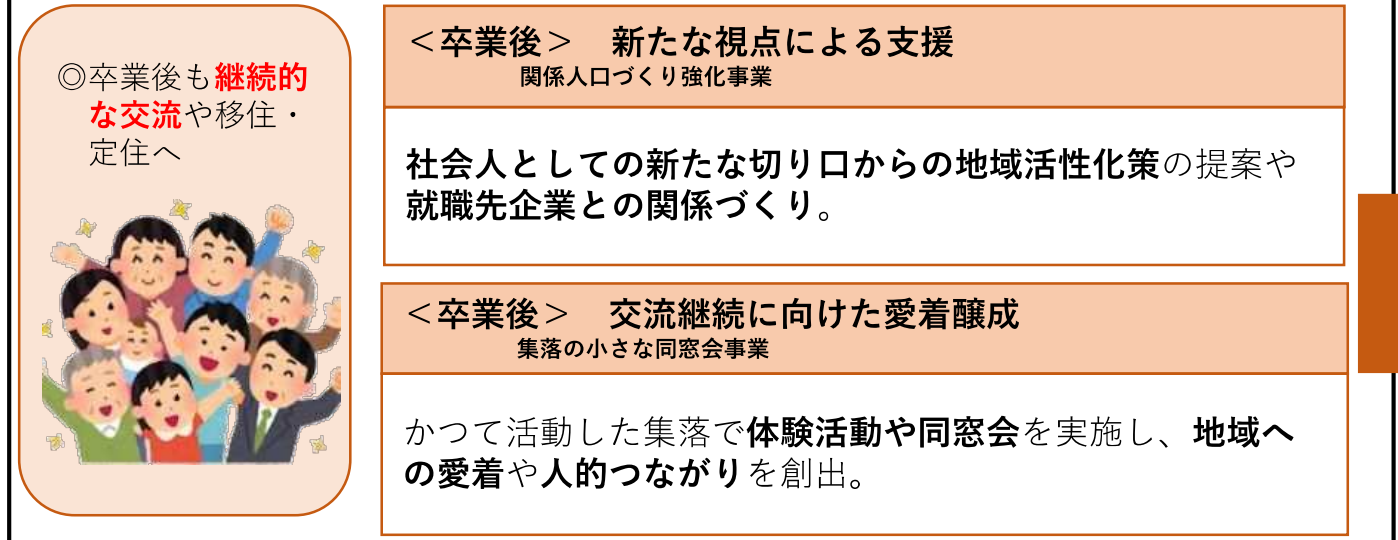


◇平成21年度から実施し、これまで**82集落・82グループ**（43大学）が参加  
 ◇主な参加大学：福島大、東北大、獨協大、宇都宮大、東洋大、宮城教育大、宮城大 R4.10月現在

## 集落活性化の取組



## 関係人口創出の取組



## 集落活性化の事例

**農家民宿でまちおこし** **農家民宿**

二本松市木幡地区水舟集落 × 宇都宮大学里計画研究会 H25～26, H30～R1

○大学生が**農家民泊ガイドライン**を作成し、農家民宿体験を実施。  
 ○木幡地区では学生の提案を受け4軒の農家民宿が開業、現在は**8軒が運営中**。

**竹の活用 SDGs** **地域資源**

会津若松市大戸地区 × 会津短期大学部OOTOプロジェクト R1～

○伐採した竹を活用し、**竹灯籠や生活雑貨**の製作、竹酢液を使った野菜作りを実践。  
 ○収穫した野菜は、**地元の高校生や企業と連携**して販売。

**あんぽ柿 復っ活** **特産品**

伊達市梁川町五十沢地区 × 東洋大学藤井信幸ゼミ H27～30

○風評による売上減少、検査に伴うコスト増等により苦戦していたあんぽ柿。  
 ○市場ニーズを捉えた少量販売、学生考案の包装デザイン、「発祥の地」の売り込みなど**高付加価値の商品化**に成功。

**交流活動継続宣言** **交流**

只見町布沢区 × 宇都宮大学 D-friends(任意団体) H22～

○学生とOBが任意団体「D-friends」を結成し、区と「**交流活動継続宣言**」を締結。**年間延べ約200人**が地域を訪問し活動・交流を継続。  
 ○本事業のOBが**地域おこし協力隊**を経て「**森林の分校 ふざわ**」の支配人に就任。

## 関係人口・地域の担い手へ

**地域おこし協力隊**

西会津町中町 × 福島大学 岩崎ゼミ

○Aさんは西会津町民の人柄に惹かれ、令和4年4月より西会津町の**地域おこし協力隊**に着任。  
 ○集落支援を担当し、西会津町と他の地域をつなぐ架け橋として活躍中。

**地域おこし協力隊 → 起業**

南会津町耻風地区 × 獨協大学 大竹ゼミ

○Bさんは大学生事業をきっかけに、南会津町の**地域おこし協力隊**として3年間活動。  
 ○任期終了後も、**南会津町に定住**し直売所の運営、地元商品の県外への販売、製作したキッチンカーの営業に挑戦中。